

開倫塾

塾長 林 明夫

おはようございます。今朝も開倫塾の時間をお聴き頂き有り難うございます。

先日、ブリヂストンの黒磯工場が火事になりましたが、ブリヂストンについては、とても良いタイヤを作っていること、また 800 人もの雇用を維持していることを素晴らしいと思っていました。おけがなされた方が少なかったのは良かったと思いますが、原因を追及して頂いて、皆さんが励まし合って工場の再建に取り組んで頂ければ有り難いと思います。こういった大変なときは栃木県をあげて皆でBSの栃木工場への支援をして頂ければ有り難いと思います。私はこの放送で皆様をお願いするしかできませんが、本当に BS 栃木工場の一日も早い再建をお祈り申し上げます。また、黒磯市民の方の中には、大変な思いをされた方もいらっしゃると思います。心よりお見舞い申し上げます。たまたま東北道を走っておりましたら、消防自動車は何台も黒磯方面に向かっていました。警察、消防の方も知事さんはじめ関係者の方も、皆さんが栃木工場の早い再開を祈って、消火活動や防犯活動に当たられたと思うので、くれぐれも工場再開を主題に置いて今後を考えて頂ければと思います。

今日は新聞を読むということについてお話したいと思います。黒磯の事件はTVや栃木放送をはじめとするラジオでもかなり報道がありました。ただ、TV、ラジオの報道はその場で忘れてしまうこともありますので、できれば、TV、ラジオで見聞きした後、新聞でもう一度確かめるということが大事ではないかと思います。ということで、今日は新聞の読み方についてお話したいと思います。

子どもの知性を磨くにはどうしたら良いかということですが、お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、それから大人の方が新聞を子どもの前で良く読むことが大事だと思います。子どもの前で新聞を読んで頂いて、興味のある事柄、例えば、今回の件で言えば、BS の栃木工場は今まで素晴らしい活動をしていたこと、たまたま今回こんな形で大変な災害が起きたけれど、福田昭夫栃木県知事を先頭に、栃木、埼玉、東京、福島消防、警察の方が総動員で消火活動して下さって鎮火までに至ったこと。今後の復興も大変だと思いますが、そういった話題も TV、ラジオ、新聞等のニュースで取り上げられるでしょうから、話題にして頂きながら、「どうやったら上手く復興できるかな」といったことを話して頂けると、子どもにとって非常に素晴らしい勉強になると思います。こうい

った社会問題は、下野新聞は全面的に出ていますし、全国紙は地方面に載っていますので、栃木版を丁寧に読んで頂いて、栃木県のニュースを知って頂くとよいと思います。できれば保護者の方は先によく読み、子どもに「こんなことがあるね」と話してみる。すると子どもも「こういうことがあるのか。」とよく解ると思います。そういうことで、子どもが新聞を読むことを奨励するような行動を大人がとってあげれば、子どもの知性が磨かれることが多いのではと思います。それから、今、自民党の総裁選が行われていて、小泉首相はじめ、藤井さん、亀井さん、高村さんの4人の方が色々なことを演説しています。この選挙で勝った方が、日本の総理大臣になる確率が非常に高いわけです。野党の方も頑張れば菅さんなどが総理大臣になれるかもしれませんが、自民党の方がなる確率が高いわけです。新聞の一面や二面を見ますと、そこには日本の政治、社会経済についての一番大事と思われる記事が載っています。そういった政治関係のことについて各候補者がどんな考えを持っているかということ、子ども達の前で、大人どうしが新聞を見ながら話し合ってもらって「私は小泉さんの考えが好きだ」とか「亀井さんの方が正しい」とか、できるだけ議論して下さいと、子ども達も政治を身近に感じ興味を持てると思います。ですから、子ども達の前で新聞を一面から読んで頂く。それから一面の下のコラム、例えば下野新聞の「平和塔」、読売の「編集手帳」、朝日の「天声人語」等は、各新聞毎に筆が立つというか、文が上手い方が短い文で書いたもので面白いですから是非、このコラムも子ども達の前で読んで頂いて、子ども達にも話題として出して頂く。そうすると子ども達が世の中のことが段々解ってきまして、新聞を読むようになります。要するに私が言いたいのは、新聞は読めば読む程、世の中のことが解って、深く本格的に「これから世の中がどうなるか」とか「今までどうだったか」が解るということです。つまり、新聞は、TV、ラジオで一回は聴いたものでも、詳しいこと、正確なことを忘れずに理解したいときに非常に役に立つので、TV、ラジオと共に子どもの知性を養うのに役立てて頂ければと思います。知性は磨けば磨く程、輝きますが、子どもが自身で磨くのは非常に大変なことです。ですから、お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんがお手伝いして下さい。もちろん学校の先生や学習塾の我々もお手伝いさせていただきますが、一番の主体は家族の方ですので、これだけは宜しくお願いします。今日は最初に黒磯のBSの工場が大変なことになったので、頑張って早く再建して頂きたいことをお願いさせていただきました。頑張って下さいね。是非また素晴らしいタイヤを黒磯から日本、世界中へ送り出して頂くことを望んでおります。